

1. 概要

この資料は下記の製品について、変更点を提示します。

- ・ TrustBind/Federation Manager IDP Edition
- ・ TrustBind/Federation Manager IDP Extend Edition
- ・ TrustBind/Federation Manager OP Edition

2. 変更内容

2.1. 全製品共通

(1) 【サブ認証要素の改善】

- ・ 登録済みのメールアドレスとユーザが入力したメールアドレスの比較を行う際、大文字と小文字を区別しないように変更しました。
- ・ データストアに RDB を利用している場合、登録済みのユーザ ID と入力されたユーザ ID の比較において、大文字小文字の区別を設定に応じて変更できるようにしました。
- ・ CSRF トークンの導入により、二重送信を防ぐ対策を強化しました。

(2) 【FID02 による認証機能の改善】

- ・ パスキーの登録時および認証時に、オーバーレイインジケータを表示する機能を追加しました。
- ・ 認証器で発生したエラーに対するエラーメッセージを適切に表示するよう改善しました。
- ・ FID02 認証が行えない場合のパスワード認証機能でパスワード再設定が行えるよう改善しました。
- ・ Credential ID が登録されている DB カラムの上限値を 1023 バイトに改善しました。

(3) 【リスクベース検証機能の改善】

- ・ 新規デバイス判定時に利用する Cookie の有効期限を認証の都度延長するように変更しました。

(4) 【セルフメンテナンスへの機能追加、改善】

- ・ セルフメンテナンスメニューからログアウトできる機能を追加しました。
- ・ パスキー一覧に、最終利用日時と認証器種別を表示するようにしました。

(5) 【管理者向け機能への機能追加、改善】

- ・削除済みのオペレータやユーザを復活できる機能を追加しました。
- ・ユーザ変更画面にパスキーの一覧表示、削除機能を追加しました。
- ・ユーザインポートおよびエクスポート機能で、Windows-31J へ対応し、表示可能な文字種を拡張しました。
- ・REST API を初期状態では閉塞するように修正しました。